

## 【単元のポイント】

# 単位量あたりの大きさ

5年生 算数 第12単元

### 学習指導要領（平成29年告示）の目標

#### 【C 変化と関係】C(1) 単位量あたりの大きさ

異種の二つの量の割合として捉えられる数量について、その比や表し方を理解すること。

### ◆ 評価の3観点における目標

#### 【知識・技能】

- 単位量あたりの大きさの意味を理解している
- 人口密度や速さを求められる
- 異種の量の比較に単位量あたりを使える

#### 【思考・判断・表現】

- 単位量あたりで比較する方法を説明できる
- 適切な単位量を選んで比較できる

## ◆ 指導上の留意点

### 1. 人口密度

- 人口密度 = 人口 ÷ 面積 (1k m<sup>2</sup>あたりの人口)
- 例：人口 5000 人、面積 10k m<sup>2</sup> →  $5000 \div 10 = 500$  人/k m<sup>2</sup>

### 2. 混み具合

- 1人あたりの面積、または 1 m<sup>2</sup>あたりの人数で比較
- 数が大きいほど「すいている」か「こんでいる」かは指標による

### 3. 速さ

- 速さ = 道のり ÷ 時間
- 道のり = 速さ × 時間
- 時間 = 道のり ÷ 速さ

### 4. つまずきやすいポイント

- 割る順番（何を何で割るか）を間違える
- 単位の変換 (km/時 ⇄ m/分) で混乱
- 「大きい=こんでいる」か「大きい=すいている」かの混同